

**令和3年度当初予算の概要**  
**(事業別説明資料)**

**神岡振興事務所**



## 目 次

鉾山資料館の耐震調査等の実施 .....	3
ロスト・ライン・パーク構想の推進 .....	4
先端科学都市構想の推進 .....	5

注：タイトル末尾に\*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（\*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

## 新規 鉾山資料館の耐震調査等の実施

<b>1 事業費</b> (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,892	一般財源	委託料
	1,892	1,892

(前年度予算 0 )

### 2 事業背景・目的

平成30年度に神岡町の若手有志により「神岡の街づくりを考える会」が立ち上がり、令和元年度にその検討結果が提言書として市へ提出されました。それを受け、令和2年度に、提言書の内容について更に一步進んだ検討をおこなっていただくための「令和版神岡のまちづくり検討会議」を設置し、提言を具現化するための協議を行ってきました。

その中で、今後の活用が見込まれる高原郷土館にある鉾山資料館については、活用を見据えた耐震補強が課題であることや、令和6年には三井金属鉾業が創業150年の節目を迎えられるということも踏まえ、今後の活用のための耐震調査等を実施します。

### 3 事業概要

#### ○ 鉾山資料館耐震診断、耐震補強計画案作成 (1,892千円)

鉾山資料館は、過去に耐震診断を実施していますが、基準が一部変更になっていることから修正を行うとともに、概算工事費の算定のため補強改修の計画策定を実施します。



款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	神岡振興事務所市民振興課		TEL0578-82-2253	予算書	P.55

## [拡充] ロスト・ライン・パーク構想の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】												
33,203	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">鉄道資産整理基金</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">26,277</td> </tr> <tr> <td>ふるさと創生基金</td> <td style="text-align: right;">6,653</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: right;">273</td> </tr> </table>	鉄道資産整理基金	26,277	ふるさと創生基金	6,653	一般財源	273	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">委託料</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">26,277</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td style="text-align: right;">6,653</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">273</td> </tr> </table>	委託料	26,277	工事請負費	6,653	その他	273
鉄道資産整理基金	26,277													
ふるさと創生基金	6,653													
一般財源	273													
委託料	26,277													
工事請負費	6,653													
その他	273													
(前年度予算 6,773 )														

### 2 事業背景・目的

旧神岡鉄道の廃線路を活用したレールマウンテンバイクは、新たなアクティビティとして現在でもなおマスコミに広く取り上げられており、大きな人気を博しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時休業していましたが、再開後は利用者も徐々に増えてきており、市の観光振興を支える重要な柱として成長を遂げています。

一方で、鉄道構造物のほとんどは竣工より50年を経過しており、経年劣化がみられる箇所もあることから、安全性確保のために定期点検やメンテナンスを含めた維持修繕工事が必要です。

このことから、令和3年度は更なる飛躍をとげるための活用区域延伸に向けた整備を行うとともに、安全性確保のための維持修繕を行います。

### 3 事業概要

#### ① 【新規】新たな体験コンテンツ創設のための整備 (6,653千円)

現在未活用となっている旧鉾山前駅～二ツ屋の区間の令和元年度に実施した調査結果を基に船津トンネルの修繕工事を実施します。この整備により、まちなかコースと渓谷コースを運営しながら、その間の未利用区間で鉄道車両運転体験が実施できる環境を整えます。

#### ② 【継続】構造物の調査・点検の実施 (26,277千円)

毎年営業前に実施している法面等の定期確認調査を行うほか、前回点検より5年が経過した神岡橋梁及び第1、第2神岡トンネルの調査点検を実施します。また、限られた財源の中で今後の点検整備を計画的に進めていくために中期的な整備計画を策定し、毎年見直しを行うことで、安全性を確保した運営に努めます。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	7 地域振興費
所 属	神岡振興事務所市民振興課	TEL	0578-82-2253	予算書	P. 55

## **拡充** 先端科学都市構想の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
5,167	ふるさと創生基金	3,067	役務費	1,648
	雑入	2,100	使用料	974
			その他	2,545
(前年度予算 4,456 )				

### 2 事業背景・目的

先端科学都市構想とは、世界の宇宙物理学をけん引する研究者の方々を取り巻く環境整備の支援や最先端の宇宙物理学に関する情報発信を行うことで飛騨市の地域活性化を推進する構想です。その中核を担う「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」は、令和2年度においてコロナ禍の影響により入館者数は減少しましたが、新しい運営形態としてオンラインによる見学会や講座開催等により、なかなか来館いただけない方々との繋がりができるなど、新たな効果が生まれました。

令和3年度は、こうした知見をもとに見学会等の開催とあわせ「ハイパーカミオカンデ（以下「HK」）計画」や「KAGRA本格観測」などの企画展を開催するとともに、本格的に始動したHKの早期完成に向けた期成同盟会としての取り組みを行い、市民や市内事業者と協働し計画推進をサポートすることで市が一体となって研究を後押ししていきます。

### 3 事業概要

#### ① 【拡充】HK計画推進期成同盟会の運営 (1,757千円)

HK計画の推進に向け、引き続き国への働きかけに取り組むとともに、市内事業者等と連携し、HK整備事業が地域の経済活性化に繋がるよう取り組みを推進します。また、計画を広く知ってもらうため、運送会社の協力を得て「HK完成予想パース」等のトラックラッピングを実施します。

#### ② 【継続】カミオカラボ運営 (1,507千円)

魅力ある企画展の実施やサイエンストーク、ランチタイムトークを実施するとともに、コロナ禍で習得したリモートでの見学会等を実施します。

#### ③ 【継続】SK及びKAGRAの一般公開 (1,903千円)

SK（スーパーカミオカンデ）やKAGRAの一般公開について、引き続き東大と連携し実施します。

(款)	2 総務費	(項)	1 総務管理費	(目)	6 企画費
所 属	神岡振興事務所市民振興課		TEL0578-82-2253	予算書	P.52